

審査項目・評価基準について

別紙 2

- それぞれの項目について、A～Cの3段階又はA～Eの5段階で評価する。
- 技術評価総得点の70%を失格基準点とし、これに満たない参加者は失格とする。

<技術評価点>

審査項目		評価基準	採点基準	配点		
経験・能力等	○業務実績	・過去5年間に同種又は類似の業務実績があるか	A 過去5年間に同種業務実績が3件以上又は類似業務実績が5件以上ある	10		
			B 過去5年間に同種業務実績が1件以上又は類似業務実績が3件以上ある			
			C 上記に該当しない			
実施体制等	○実施工程 ○実施体制	<ul style="list-style-type: none"> ・スケジュールは妥当か。 ・効率的な内容であるか。 ・担当者数や役割分担は適切であるか。 ・担当者の手持ち業務が多すぎているか。 ・指揮系統や責任権限は適切であるか。 	A スケジュールや業務体制について、実現性、具体性、経済性、安定性のすべてが高く特に秀でている	20		
			B スケジュールや業務体制について、実現性、具体性、経済性、安定性のすべてが高い			
			C スケジュールや業務体制について、実現性、具体性、経済性、安定性が総合的に高い			
			D スケジュールや業務体制について、実現性、具体性、経済性、安定性が総合的に普通			
			E 上記に該当しない			
提案書 実施方針等	○趣旨・内容の理解度 ○実施方針や方法の妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・本業務の趣旨や内容を理解した提案となっているか。 ・実施方針・方法は妥当か。 	A 理解度・実施の手法等が総合的に非常に優れている	20		
			B 理解度・実施の手法等が総合的に優れている			
			C 理解度・実施の手法等が普通			
			D 理解度・実施の手法等がやや劣る			
			E 理解度・実施の手法等が劣る			
重要事項	○地域課題の理解と持続可能性	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの取組み内容を踏まえた持続可能な提案であるか ・地域課題（子育て、教育、暮らし、仕事、移住）を理解した提案であるか。 	A 項目に係る提案が非常に優れている	10		
			B 項目に係る提案が優れている			
			○先駆的な提案	・全国的視野・観点に立ち、地域性特性を生かした提案か。	C 項目に係る提案が一般的なレベルである	10
			○住民意識の醸成	・住民のビジョン理解と主体性を引き出すものであるか。	D 項目に係る提案がやや劣る	10
	○部局横断連携マネジメント	・関係課連携の重要性を理解し展開できるものであるか。	E 項目に係る提案が劣る	10		
ヒアリング	○専門性 ○取組意欲	<ul style="list-style-type: none"> ・当該事業に関する分野について知識や見識が優れているか ・業務に関する取組み意欲が感じられるか 	A 非常に優れている	10		
			B 優れている			
			C 普通			
			D やや劣る			
			E 劣る			
技術評価点 小計（審査員一人当たり）				100		
技術評価点 合計（審査員7人×小計）				700		

<価格評価点>

価格評価点	見積価格	価格点 = 70 × (最低提案価格 / 当該提案価格)	70
-------	------	------------------------------	----

合 計（技術評価点+価格評価点）			770
------------------	--	--	-----